

2024年度「キッズデザイン賞」3作品受賞

株式会社日本ハウスホールディングス(本社:東京都千代田区)は、キッズデザイン協議会が主催する「第18回キッズデザイン賞」において3作品が受賞しました。

日本ハウスホールディングスは創業以来、丈夫で長持ちする家づくりを志向し、「檜品質」「ゼロエネ品質」「快適品質」と3つのこだわりを持ち、木造軸組工法の技術品質向上、本物の住まいづくりを進めております。

親から子へ、子から孫へ受け継がれる住まいづくり、地域の環境への貢献、安心・安全・快適を追求し、今回の受賞に至りました。今後も弛まぬ技術向上と、お客様が安心して任せられる住宅づくりを行ってまいります。

【受賞作品】

・ **檜・一室の家** / 子供たちの創造性と未来を拓くデザイン部門

日本ハウスホールディングス/隈研吾建築都市設計事務所/千葉工業大学 金子尚志

・ **コートテラス・半屋外空間をもつ家** / 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

日本ハウスホールディングス/千葉工業大学 金子尚志

・ **フリーハンドスケッチコミュニケーションで創る家** / 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

日本ハウスホールディングス/千葉工業大学 金子尚志



檜・一室の家



コートテラス半屋外空間をもつ家



フリーハンドスケッチコミュニケーション
で創る家

キッズデザイン賞はすべての製品・空間・サービスなど幅広く対象とする顕彰制度です。「子どもが安全に暮らす」、「子どもが感性や創造性豊かに育つ」、「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という3つのデザインミッションを実現するための優れた製品・空間・サービスを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

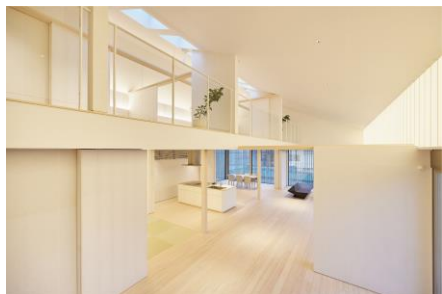


主催:キッズデザイン協議会、後援:経済産業省、内閣府、消費者庁
(参照)キッズデザインAWARD : <https://kidsdesignaward.jp/about/>

『キッズデザイン賞 受賞内容』

■檜・一室の家 ～ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 ～

田の字プランを現代的に再解釈。子どもたちへ、日本の伝統と現代的なすまいの双方をかたちとして残していく。民家の構成を現代化し、子どもたちへ残す住まいとして相ふさわしい住まいを目指した。



一宮展示場

■コートテラス・半屋外空間をもつ家 ～ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 ～

子どもの創造的居場所・「コートテラス」・・・外部を内部化する「半屋内外空間」のある家。家族からの見通しが良い事が安心感につながり、囲まれた外部空間があることで、内部空間にいても広がりを感じ、コートテラスの格子があることで外部の様子がきにならない。子どもたちの居場所となっている。



なとり展示場

■フリーハンドスケッチコミュニケーションで創る家 ～ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 ～

フリーハンドスケッチをコミュニケーションツールとして、会話だけでなくビジュアルによって、子どもたちにも家づくりに参加しやすく、家族で創る家を目指した。子どもたちが家づくりに参加できる。近年はCGなどデジタル手法が多く使われているが、今だからこそ、“アナログ”な“スケッチ”でのコミュニケーションを見直したい。



■本件に関するお問い合わせ

株式会社日本ハウスホールディングス
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-3-8
URL: <http://www.nihonhouse-hd.co.jp/>

担当; デジタル・広報広告部 小長谷、伏見
TEL: 03-5215-9897 FAX: 03-5215-9909
E-mail: kkonagaya@nihonhouse-hd.co.jp